



明るい漁村



CONTENTS

漁業協同組合JFしまね第4回通常総代会開催	2
JFしまね会長あいさつ	3
平成20年度決算状況	4
平成21年度事業計画	5~6
JFしまね新総代名簿	7

お寿司で食べよう！しまねの魚イベント開催	8~9
小型漁船緊急通報システム説明会開催	10
魚介類紹介ポスター贈呈	10
事業部だより	11
インフォメーション	12

第4回

漁業協同組合
JFしまね

通常総代会



岡本正二 島根県議会水産振興議員連盟会長



田原正居 島根県議会議長



溝口善兵衛 島根県知事



長府吉信 議長

総代会では冒頭に岸 宏JFしまね会長が挨拶し、引き続き来賓の溝口善兵衛島根県知事、田原正居島根県議会議長、岡本昭二島根県議会水産振興議員連盟会長から祝辞を戴いた。続いて議事に移り、議長に浦郷地区・長府吉信総代が選任され、下記の各議案を審議の結果、全8議案とも原案通り承認され総代会は終了した。

去る6月27日(土)午前10時よりホテル一畑(松江市千鳥町)で、出席総代128名(内本人出席104名、書面によるもの20名)により第4回通常総代会が開催された。

(総代会で承認された議案)

第1号議案

平成20年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書並びに剰余金処分案の承認を求めめる件

第2号議案

平成21年度事業計画及び収支見込書の承認を求めめる件

第3号議案

平成21年度における借入金の高限度額決定の件

第4号議案

平成21年度内における理事及び監事の報酬決定の件

第5号議案

定款の一部変更に関する件

第6号議案

平成21年度賦課金の徴収に関する件

第7号議案

役員退任慰労金支給に関する件

第8号議案

任期満了に伴う役員選任に関する件

理事15名 監事5名
(4頁参照)

ぐあいさつ

代表理事会長

岸 宏



本日、第4回通常総代会を開催致しましたところ、各地区から総代皆様のご出席を頂くと共に、公私何かとご多繁の央、溝口島根県知事様、田原島根県議会議長様はじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、盛大に開会できます事を先ずもって厚くお礼申し上げる次第であります。

さて、平成20年度の漁業をとりまく環境は、世界的規模の金融・経済危機と原油価格の異常高騰というかつて経験した事のない厳しい状況でありました。

このような深刻な事態の中で、漁業経営の安定維持を図るために

は、窮状打開に向けての抜本的施策が早急に必要であるとの思いの中で、私もJFしまねが全国に呼びかけ先導して運動を立上げ、昨年7月には、漁協運動史上初めての全国一斉休漁の実施、更には、島根県及び全国漁民大会の開催等諸般の要請活動を今日まで継続して強力に展開して来たところであります。

その結果、省燃油操業実証事業の創設、日韓財団基金124億円の積増、更には中小企業並みの無担保融資保証制度の創設等を実現することが出来たところであります。

この事は、本県選出の国会議員である青木、細田、竹下の各先生、溝口知事様、県議会の先生方の格別なるお力添えの賜でありまして、改めて衷心より厚くお礼を申し上げまする次第であります。

又、県ご当局におかれては、昨年度の県単漁業用燃油使用効率化推進事業の創設・継続、今年度緊

急経済対策補正における県単固定資産除去支援事業の創設、更には無担保融資保証制度に対応する県単制度資金拡充等漁業支援の為、精力的な取り組みを頂いている事は本当にありがたく皆様に紹介し深く感謝申し上げまするものであります。

私共JFしまねも合併以来3カ年が経過しました。これ迄「組合員所得の増大」を目標に、組合員・役職員の理念の共有化、組合員間・職員間の平等化、経営基盤の確立を三つの柱に鋭意事業を推進して参りました。

その結果として、組合員職員の共有意識の芽生え、懸案であった燃油価格の県下統一と魚箱の仕入一元化による大幅コストダウン、合併効果としての出雲・隠岐地区二重販売手数料解消による組合員負担軽減、イオンとの直接取引事業導入による漁業者手取の増大等いささかなりとも組合員の負託に心える事ができたかと考えます。

後ほど詳細ご報告申し上げますが、平成20年度決算にて所定の引当金計上後、当期剰余金が1億円余となり、最大の懸案でありました合併時持込欠損金を計画通り全額解消することができました。

これ偏えに組合員各位のご協

力・ご理解、関係各位のご指導の賜であり心から感謝申し上げまする次第であります。

しかし乍ら、一面、組織改革に伴う痛み、地域特性と組織感の希薄化等、数多くの課題が浮かびあがったことも事実であります。

従って平成21年度からの3カ年は、これまでの成果と反省を直撃にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするための飛躍期間とすべき「ゆるぎない信念をもつて、たゆまざる自助努力をしていくこと」が肝要であると考えます。

今年度はこのような認識に立つて、地域特性を生かした「組織の融合一体化」、漁業再興の基本である「魚食普及・魚価向上と流通経費縮減」、JFしまねの礎としての「経営財務基盤の確立強化」を新たな三本柱として、目標である「組合員所得向上」の為、諸般の事業を推進すること致しておりますので、組合員各位の一層のご協力をお願いする次第であります。

本日の総代会には、平成20年度決算、平成21年度事業計画等諸案件を上程しておりますので充分ご審議の上ご承認頂きますようお願いいたします。

平成21年度

新役員名簿

理事15名

代表理事 会長 岸 宏

副会長 理事 團野 清

副会長 理事 金坂 敬

専務 理事 永田 正二 (昇任)

専務 理事 築谷 允

理事 谷口 一春

理事 山本千代則

理事 曾田 利行

理事 吉原 幸則

理事 中島 謙二

理事 小中 竹雄

理事 葛西 清秀 (新任)

理事 金築 義信 (新任)

理事 山内 雪久 (新任)

監事5名

代表 監事 加藤 二士 (昇任)

監事 堀上 俊 (新任)

監事 神門 守 (新任)

常勤 監事 岸本 良男

平成20年度

決算状況

平成20年度 決算状況
平成20年度決算の概況は次のとおりです。

本組合事業にご協力賜りました組合員各位、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

損益計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで (単位:円)

科 目	金 額
1 事業総利益	2,567,944,125
信用事業総利益	444,227,562
共済事業総利益	83,330,399
購買事業総利益	676,296,826
販売事業総利益	1,316,185,487
製氷冷凍事業総利益	9,151,508
加工事業総利益	5,617,284
利用事業総利益	19,241,335
漁業自営事業総利益	12,807,571
漁場利用事業総利益	26,826
指導事業収支差額	44,977,485
無線事業収支差額	0
2 事業管理費	2,585,342,473
(1) 人件費	1,754,398,604
(2) 旅費交通費	30,161,705
(3) 業務費	94,214,594
(4) 諸税負担金	86,796,346
(5) 施設費	355,571,983
(6) 減価償却費	238,802,819
(7) 雑費	25,396,422
【事業利益】	17,398,348
3 事業外収益	583,818,876
4 事業外費用	443,000,760
【経常利益】	123,419,768
5 特別利益	39,092
6 特別損失	13,795,677
【税引前当期利益】	109,663,183
法人税・住民税及び事業税	9,024,000
【当期剰余金】	100,639,183
【前期繰越剰余金】	69,301,066
【当期末処分剰余金】	31,338,117

貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位:円)

資 産		負債及び純資産	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 信用事業資産	42,161,854,803	1 信用事業負債	44,670,078,663
2 共済事業資産	4,088,696	2 共済事業負債	68,869,944
3 流動資産	3,057,270,046	3 流動負債	3,058,851,672
(1) 経済事業未収金	2,127,105,656	(1) 経済事業未払金	1,375,250,181
(2) 経済事業雑資産	82,790,239	(2) 経済事業雑負債	14,595,109
(3) 棚卸資産	806,297,132	(3) 賦課金仮受金	2,947,469
(4) その他の流動資産	476,055,032	(4) 未払法人税等	10,248,300
(5) 貸倒引当金	434,978,013	(5) その他の流動負債	1,655,810,613
		4 固定負債	1,144,551,756
4 固定資産	9,619,502,065	(1) 長期借入金	354,852,881
(1) 有形固定資産	5,613,831,299	(2) 受入保証金	754,402,099
減価償却資産	13,393,503,260	(3) 出資預り金	35,296,776
減価償却累計額	9,932,828,576	5 諸引当金	2,375,039,562
土地	2,123,219,735	(1) 賞与引当金	85,344,000
建設仮勘定	29,936,880	(2) 退職給付引当金	2,270,895,562
(2) 無形固定資産	16,688,744	(3) 役員退任慰労引当金	13,800,000
(3) 外部出資	3,270,039,357	(4) 遭難救助引当金	5,000,000
系統出資	2,726,935,970	6 繰延税金負債	0
系統外出資	543,103,387	7 再評価に係る繰延税金負債	21,257,712
(4) 長期特定資産	5,789,110	負債の部合計	51,338,649,309
(5) その他の固定資産	1,351,170,417	(純資産の部)	
(6) 貸倒引当金	638,016,862	1 出資金	3,352,680,000
		2 資本準備金	13,536,562
5 繰延資産	48,919,489	3 再評価積立金	0
		4 利益剰余金	138,100,255
		(1) 利益準備金	76,943,449
		(2) その他利益剰余金	61,156,806
		特別積立金	29,818,689
		当期末処分剰余金	31,338,117
		(うち当期剰余金)	(100,639,183)
		組合員資本合計	3,504,316,817
		1 土地再評価差額金	48,668,973
		評価・換算差額等合計	48,668,973
		純資産の部合計	3,552,985,790
資産の部合計	54,891,635,099	負債及び純資産の部合計	54,891,635,099

平成21年度の組合運営及びこれからの3カ年は、これまでの3年間の成果と反省を真摯にふまえ、JFしまねの将来展望を確かなものにするための飛躍期間とすべく、「組織の融合一体化」「魚食普及・魚価向上と流通経費縮減」「経営財務基盤の確立強化」を新たな3本柱として、目標である「組合員所得の向上」の実現のため組合員・役職員一丸となって取り組むものとする。

重点推進事項

1. 販売事業

JF市場への組合員全出荷体制の確立に努める。
支所販売部門間の連携を強化していく。

組合員への市況等の情報提供に努め、魚価向上をめざす。
魚食普及・魚価向上・流通経費縮減対策へ積極的に取り組む。

2. 購買事業

石油購買事業については、県下統一価格となり、また、価格改定については、月2回（1日、16日）の改定実施に伴い対応を迅速に行い、組合員への周知徹底を図る。

魚函においては、仕入一元化によるスケールメリットと新統一箱の供給開始に伴う組合員の全利用体制を確立する。
在庫管理の徹底と取扱品目の見直し。

3. 信用事業

平成21年9月末までに信用事業店舗再編を完全実施する。

JFしまねを受給窓口指定された年金受給者の方に対する会員組織「ほつと倶楽部会員」の充実強化を図り、年金受給者口座の獲得を重点目標として取り組む。

漁業信用保証業務との連携により、漁業経営改善のための必要な支援を行う。

4. 共済事業

JF共済の「チヨコー」は、貯蓄や万一の保障を届け、入院や手術保障の充実により浜のみならず元気に暮らすことを目標とした共済であり、万一の場合を終身にわたり保障する「終身共済」を主体に加入者を増大し、チヨコー保有高の増加をめざす。

また、浜でのチヨコーへの評価は高まっているが、保有契約は減少傾向にあり、契約の満期継続に積極的に対応していく。

JF共済の「くらし」は、火災や自然災害などによる建物や収容されている家財等の損害を補償するほか、満期時には満期共済掛金を支払う共済であり、万一の自然災害の損害に対しても安心できる補償提供を目的に、加入者の増大をめざす。

5. その他の事業

冷凍冷蔵事業については、販売部門との連携を強化し、魚価安定に努め稼働率の向上を図るとともにコスト削減に努力する。

製氷事業については、境港製氷工場の稼働率の向上に努めるとともに、境港・浜田製氷工場を核とする氷供給体制を構築する。

既存の加工施設の再点検・リニューアルにより新規活用を図るとともに、不採算事業を整理し、新規事業の開拓に取り組む。

「JFしまね漁業無線局」を有効に活用し、組合員への気象情報及び海上防災情報、漁海況速報の提供による海難事故の未然防止と操業効率の向上に努める。

指導事業については、200海里水域対策、日韓・日中漁業協定関連漁業振興対策、基金構想事業の推進、また漁業再構築対策・担い手後継者育成対策・繁殖保護・漁場管理・資源管理型漁業の推進・営漁指導・生産、販売流通対策等の漁業振興対策を行うこととする。



総代会で承認された賦課金の徴収につきましては、次のとおりです。

① 賦課金の金額

正組合員 年間3、000円
准組合員 年間2、000円

② 徴収期間及び徴収方法

平成21年8月31日までに本組合口座に口座振替又は振り込み等によって納入する。

JFしまね漁業無線局賦課金徴収につきましては、次のとおりです。

① 賦課金の金額

区分	年額
漁業種別賦課額	
沖合底曳網(25m以上1ヶ統)	216、000円
沖合底曳網(1ヶ統以下)	108、000円
旋網(100t以上船1隻あたり)	100、000円
旋網(100t未満船1隻あたり)	搭載する無線機種別賦課額とする。
無線機種別賦課額	
27メガ DSB 1W	16、800円
27メガ SSB 25W	30、000円
40メガ DSB 5W	30、000円
40メガ DSB 5W(准加入)	36、000円

無線機併設船については、高額な方の賦課額とする。

② 徴収時期及び徴収方法

平成21年10月31日までに口座振替を原則に納入する。

平成21年度主要事業取扱計画

平成21年4月1日から平成22年3月31日 (単位：千円)

部門	金額	備考
経済事業	石油類 4,528,003	
	資材類 1,242,769	
	合計 5,770,772	
	受託販売取扱高 25,541,801	
	買取販売 3,924,043	
	合計 29,465,844	
	冷凍品販売高 1,280,192	
	保管料 146,428	
	合計 1,426,620	
	製氷事業 氷供給高 635,473	
加工事業	加工品販売高 162,818	
	受入加工料 1,960	
合計 164,778		
利用事業 受入利用料 240,251		
漁協自営事業 販売高 203,050		
経済事業総取扱高 37,906,788		
信用事業	預け金 26,896,000	
	有価証券 3,528,000	
	貸出金 9,116,000	
	貯金 44,527,000	
共済事業	普通厚生共済 48,200,000	
	長期共済保有高 生活総合共済 14,400,000	
	合計 62,600,000	
	ねんきん 54,500	
	乗組員厚生共済 10,500,000	
短期共済保有高 火災共済 21,600,000		
合計 32,100,000		

平成21年度収支計画

平成21年4月1日から平成22年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
1 事業総利益 2,678,981	
【信用事業総利益】 390,348	
【共済事業総利益】 80,685	
【購買事業総利益】 599,619	
【販売事業総利益】 1,291,742	
【買取販売事業総利益】 131,502	
【冷凍冷蔵事業総利益】 -8,393	
【製氷事業総利益】 96,136	
【加工事業総利益】 19,027	
【利用事業総利益】 22,026	
【その他事業総利益】 -8,250	
【無線事業総利益】 1,632	
【指導事業総利益】 62,907	
事業収益計 17,037,623	
事業直接費計 14,358,642	
2 事業管理費 2,506,010	
(1) 人件費 1,737,083	
(2) 旅費交通費 26,847	
(3) 業務費 91,264	
(4) 租税公課 59,643	
(5) 負担金 20,034	
(6) 施設費 331,194	
(7) 減価償却費 216,867	
(8) 雑費 23,078	
(事業利益) 172,971	
3 事業外収益 144,692	
4 事業外費用 17,318	
(経常利益) 300,345	
5 特別利益 0	
6 特別損失 85,947	
(税引前当期剰余金) 214,398	
法人税・住民税 9,024	
(当期剰余金) 205,374	

新総代決定

任期

自/平成21年7月1日
至/平成24年6月30日

平成21年5月27日に告示された漁業協同組合JFしまねの総代選挙により次の皆様が新総代（145名）に当選されました。
今後のご活躍を期待しますとともに、JFしまね躍進へのお力添えを
よろしくお願い申し上げます。

美保関

吉田 俊二 木村 賢一 上野 昌一 野村 美博 井上 一彦 山本 夫 今村 喜彦 小越 洋一 小笠原 武夫 永田 浩治 河本 豊浩

島根町

梶野 滋利 小川 勝道 小森 孝好 村上 吉次 青利 真吉 相山 利雅 奥見 好雅 品川 定正 川村 弘代

恵曇

朝倉 輝夫 寺本 操 北野 邦雄 石川 雄

有限会社栄徳水産代表取締役

山本 純一 青山 善忠 川上 清忠

藤井 裕一 高橋 幸丸 金山 善吉 小崎 五郎 小笹 利善 清田 美善 田中 若美

平田

岡田 茂夫 高橋 健美

大社

釜屋 英文 佐藤 英一 岡藤 幸良 佐藤 幸一 郷原 実一 南木 光男 長廻 博 樋野 実

大田

江角 卓一 中島 貞一 錦織 英司 福間 文雄 齋藤 友義 九尾 一男 中尾 利裕 伊藤 和利 柳楽 和利 吉村 和生

仁摩

月森 善之 木村 好博 中島 重夫 中山 幸一 森野 敏三 大野 三智 辻原 貞賢 林田 俊等 和田 等

浜田

石田 徳壽 渡邊 恭博 河瀬 貴博 太田 正博 安達 重悟 長澤 雄雄 尾花 房重 中村 尚重 浜川 賢一

山根 恒稔 縄根 孝稔 越堂 弘功 横田 清次 平田 清次 西田 英治 板木 勝也

益田

門城 治三 下田 重夫 大原 義行 邊田 繁義 原田 春一 西藤 清一 福島 清紀 柿谷 紀

西郷

湊好 司男 吉田 政司 加納 富士夫 林納 光晴 山本 修人 福本 秀人 岩本 和美人 清水 均 竹谷 敏司 米谷 敏司 野津 亮一

升岡 義貢 宮野 清 中村 初治 大賀 一己 松原 高治 川崎 哲男 田中 宣之 梅田 信男

浦郷

大田 豊明 池田 英世 砂田 久之助 濱本 憲一 前田 利長 安部 昭三 八幡 昭幸 岸幡 昭幸 森根 昭幸 稻葉 昭幸 石田 正美 大田 英治 大田 英世

徳田 康史 萬置 博 笠置 吉博 長府 信 平木 健 小田 雄 山田 昇 岸下 義人 井上 孝 門上 哲 藤田 義博 酒井 義博

●●● イベント開催 ●●●

～しまねの魚消費拡大計画～

「お寿司で食べよう!しまねの魚」



来賓挨拶 溝口島根県知事



主催者挨拶 JFしまね岸会長

7月4日(土)午前10時より、くまびきメッセ(松江市学園南)において漁業協同組合JFしまねと島根県魚食普及推進協議会は、50家族(204名)を抽選で招待し、「お寿司で食べよう!しまねの魚」と題した体験型のイベントを開催しました。

このイベントは、安心・安全・新鮮な「しまねの魚」を広くPRし、また美味しく食べてもらうために、しまねの魚消費拡大計画第一弾とし

て開催されたもの。
冒頭、岸 宏JFしまね会長の挨拶、溝口善兵衛島根県知事の祝辞に続き来賓紹介が行われ、司会進行役の島根大学放送サークル(バンドラボックス)による「しまねの旬の魚」がパネルや解説のもと紹介されました。
続いてステージ上で、JFしまね職員によるマグロの解体実演が行われ、それぞれの部位の紹介にあわせ手早く捌かれていくマグロに大きな歓声が上がりました。



JFしまね職員によるマグロの解体実演



島根大学放送サークルによる「しまねの旬の魚」紹介



トビウオ団子づくりを体験する保護者



にぎり寿司体験をする子供達

島根県すし組合松江支部の寿司職人の手ほどきを受けながら始まったにぎり寿司体験では、小学生以下の子供たちが挑戦。手につけた酢が多すぎてご飯がバラバラになったり、酢が少なくて手にくっついったりと悪戦苦闘しながらも、タイやマグロ、シロイカなど5種類をネタにしたにぎり寿司をつくり、一方保護者らは、島根県調理師会指導のもと、トビウ



出来上がったお寿司や団子汁を味わう参加者



体験しました。出来上がった寿司やつみれ汁、すし職人のにぎったにぎり寿司や手巻き寿司も用意され、参加者はおいしそうにほおばりながら、「にぎるのは難しかったけど楽しかった」、「魚がもつと好きになった」、「今まで調理されたものを買っていたが、家でも捌いてみたい」などそれぞれに感想を頂きました。

そのほか会場には、しまねの魚や漁業を紹介するパネルや、アマダイやヒラメ、アジやカサゴなどが入った水槽が展示されたほか、魚や貝を泳がせたタッチプールやお魚クイズでは、子供たちの大きな笑い声や歓声が聞こえました。



タッチプールの様子



お魚クイズの様子



イベント終了後日、参加されたご家族の方々から、「これから魚をどんどん食べます」「マグロの解体がすごかったです」「お寿司屋のおじちゃん、にぎり方を教えてくれてありがとう」「家でも挑戦してみます」「美味しくて楽しい時間をありがとうございました」など、たくさんお礼状を頂きました。

小型漁船緊急通報システム説明会開催

(浜田港・大社港・西郷港)

去る6月9日(火)・10日(水)、

JFしまね漁業無線局(浜田市港町)は、漁船から海に転落したときなどに無線で自動通報する小型漁船緊急通報システムの実演を、浜田市の浜



説明会の様子 ー浜田港ー



説明会の様子 ー大社港ー

田港と出雲市の大社港、隠岐の島町の西郷港で開催した。

組合員らは、メーカー社員が発信器を海水に漬けたり受信器と回転灯を接続させて作動させたりするデモンストレーションを見学した。

この緊急通報システムは、漁船にGPS(衛星利用測位システム)機能の付いた弁当箱サイズの受信器を付け、乗組員はペンダント型発信器を首にかけ、万一、海中転落をした場合にJFしまね漁業無線局に位置や船名、漂流航跡などが画面に表示され、無線局からの救急要請に結びつける。

県内には漁船約4,000隻が登録され、その内漁業無線の設置は約1,300隻であり、高齢の1人乗り操業が多いため、島根県はシステムの導入に助成事業を設けるなど、多くの漁船への導入を目指している。



緊急通報システム

島根県内小学5年生全員に

「しまねの魚」ポスター贈呈

「しまねの魚」を子どもたちにもっと知ってもらおうと、JFしまねと島根県魚食普及推進協議会は、島根県内で水揚げされる魚介類90種類のイラストを載せたポスターを作成し、県内小学5年生全員(252校/6560名)に贈呈した。

小学5年生は社会科の授業で水産業を学習する項目があり、それに役立て地元産の魚の理解を深め、食べてもらうことが狙い。



県教育庁木村教育監へ目録を手渡すJFしまね岸会長

6月19日(金)に、県教育庁で行われた贈呈式で、JFしまね岸会長は「ポスターを教室や家に張ってもらい、友達や家族と楽しみながら活用してほしい」と目録を手渡したのに対し、木村教育監は「食育やふるさと教育で活用し、子どもたちの健やかな成長に役立てたい」と話した。

ポスターには、県魚であるトビウオや、日本海で獲れるアジ、サバ、ヤリイカ、アマダイ、アンコウ、サザエ、アワビ、ズワイガニなど、また宍道湖七珍と呼ばれるウナギやスズキ、シラウオやシジミも並び、それぞれの旬の時期や漁獲方法、調理方法も記載されている。



県内で水揚げされる魚介類90種類のイラストを載せたポスター

JFしまね信用部からのお知らせ

しまねの魚イメージキャラクター誕生記念定期積金キャンペーン

『とび丸くん』のご案内

JFマリンバンクしまねでは、しまねの魚イメージキャラクター『とび丸くん』誕生を記念して、平成21年6月1日～平成21年9月30日までの間、定期積金キャンペーンの取扱をしております。

〃 上乗せ金利で 毎月コツコツ貯めて お得に積立[※]をキャッチフレーズに、組合員の皆様をはじめ、ご利用いただいております皆様に大変お得なキャンペーンとなっております。

【商品内容】

ご利用いただける方：個人の方および法人

ご契約金額：新規ご契約50万円以上

お掛込期間：3年（36回）以上5年（60回）

お預かり金利：店頭金利に0.1%上乗せした金利。

さらに年金受取または、給与振込み・仕切金振込みのお取引がある方は、店頭金利に0.1%上乗せした金利となりますので、合計で店頭金利に0.2%上乗せした金利となります。

募集契約額：2億円。 ※ただし、右記取扱期間にかかわらず募集額に達した場合は取扱を中止させていただきますので、お早めにお申込ください。

※ご契約の定期積金が満期となった時に、定期貯金にお取り組みいただいた場合、定期貯金の店頭金利に年0.1%上乗せした特別金利にてお預かりいたします。

将来お車をご購入予定の方、お子さまの学費が必要となる方等このお得な機会に是非ご利用ください。詳しくはJFしまね信用窓口までお尋ね下さい。心よりお待ちしております。



お得その①

新規ご契約で

店頭金利 **+0.10%** (年**0.25%**) (平成21年7月28日現在) でお預りいたします

お得その②

年金受け取り・給与振込のお取引がある場合

さらに、店頭金利 **+0.10%**

合計店頭金利 **+0.2%** (年**0.35%**) (平成21年7月28日現在) でお預りいたします。

お得その③

当ご契約の定期積金が満期となったときに、定期貯金にお取り組みいただいた場合には該当定期貯金の店頭金利に**+0.1%**上乗せした特別金利にてお預りいたします。

「しまねの魚」イメージキャラクター・キャッチフレーズ決定!

「しまねの魚」をPRするイメージキャラクターとキャッチフレーズが公募により決定しました。キャラクター名は「とび丸くん」、キャッチフレーズは「こらあく美味いわ!しまねの魚」です。

安全・安心・新鮮な「しまねの魚」を、多くの人々に親しみをもって食べてもらうため飛び回っている、ちょんまげ頭にねじり鉢巻、ハッピを羽織った元気な魚屋さんをモチーフ。活きの良いしまねの県魚「トビウオ」が飛び跳ねているように運んでいる様子から「とび丸くん」と名付けられたキャラクター名とキャッチフレーズは、JFしまね役職員、島根県魚商人組合連合会の組合員、島根県水産行政職員に公募し、応募総数352点の中から決定されたもの。「しまねの魚」を皆さんの食卓へ届けるため、「とび丸くん」は走り続けます。



イメージキャラクターの「とび丸くん」

こらあく美味いわ!
しまねの魚

キャッチフレーズ

島根県水産会館の玄関と屋上に設置された「とび丸くん」とキャッチフレーズ



屋上



正面玄関

毎月第一土曜日は「魚の日」
島根県魚消費普及推進協議会は、しまねの魚消費普及大キャンペーンの一環として、毎月第一土曜日を「魚の日」とし、県内の鮮魚店やスーパーなどと連携して、月毎に決められた旬の魚介類を重点的にPRしながら魚消費普及を推進します。

温かい真心に感謝

平成21年4月1日から平成21年7月22日までにご寄付頂いた方々のご芳名を掲載し、厚く御礼申し上げます。

【香典返し】

草本 兼一
草本 正
徳山 洋司

【募 金】

新家 浅夫
JFしまね恵曇支所女性部
島井漁協婦人部



皆様からのご意見や感想、ひとこと随想、また漁村に関する話題などお待ちしております。
〒690-0007 島根県松江市御手船場町575番地
漁業協同組合 JFしまね「明るい漁村」係
※E-mail: shidou@jf-shimane.or.jp または、
FAX: 0852-27-6130 でもお寄せ下さい。

本誌のバックナンバー(pdf形式)をホームページで公開しています。
<JFしまねWEBサイト>
<http://www.jf-shimane.or.jp/akarui.html>

編集後記

「お寿司で食べよう!しまねの魚」のイベントでは、子供たちのいろんな「顔」を見ることでできました。にぎり寿司体験をしている時の真剣な顔、出来上がったお寿司や団子汁を食べているときの満足そうな顔、タッチプールやお魚クイズでのとびきりの笑顔……。中でもマグロの解体実演でのマグロや捌き人を見つめる子供たちの鋭い眼差しと「ほかあ〜ん」と空いた口がとても印象的でした。今回のイベントやこれからの魚消費普及活動を通じて、多くの家族がもっと魚に興味や感心を持ち、いつでも食卓に魚料理が並びような家庭が増えていくことを願っています。(二)